

ちばの地域福祉

《中核地域生活支援センター大会 2013》を終えて

中核地域生活支援センター大会実行委員会
委員長 吉井 稔

7月20日(土)に、中核地域生活支援センター大会2013を開催し、390名の定員を大きく上回る、433名のご参加をいただきました。

大会の内容として、「地域社会の貧困化、生活困窮者支援」をテーマに、午前に厚生労働省事務次官の村木厚子氏の基調講演及び対談を行い、午後に同テーマでシンポジウムを行いました。

大会の中で感じたこととして、基調講演・対談では、千葉県で中核センターの機能が必要とされ、事業が創設された経緯と、生活支援戦略の中で生活困窮者支援が必要とされ、事業化されつつある経緯が重なっていることが挙げられます。

また、シンポジウムでは、中核センターの機能や生活困窮者支援対策が十分機能するためには、現在課題となっている状況と背景をしっかり受け止めること、一緒に考えること、就労や生活及び住まいなどのいろいろな支援要素が必要になる、ということ再認識するよい機会となったと実感しています。

今後、私たちは大会宣言として表明した、「中核センターの機能を千葉県の津々浦々にまで浸透させること、また、この機能を国の制度にあわせ、全国民のものとする」ために全力を尽くしていくこととなります。

大会を通じて考えたこととして、村木氏の話にもあった「コーディネート力」の必要性があります。このコーディネート力の活用は、個別支援や地域づくりだけでなく、今後は生活困窮者支援制度やその他の相談支援制度を整理、コーディネートしていく力として、中核センターに求められる役割の一つになるのではないかとことです。

大会の成功と同時に、私たちの果たす役割を実感した大会でした。

最後に、今大会が大盛況のうちに無事開催できたことを、ご登壇いただいた講師の方々、後援をいただいた千葉県、大会を支えてくれた中核センタースタッフ、そして当日ご参加いただいた皆様すべてに心から感謝いたします。ありがとうございました。



ちば・元気印！～こんなひとたち、見つけた～

野田市関宿南部公民館 館長 鈴木 壽三夫 さん

【民生委員として】

今年の4月に野田市関宿南部公民館館長に就任された鈴木さんをご紹介します。

鈴木さんの稼業は食料品店、平成12年に「野田市民生委員・児童委員」を委嘱され、「民生委員・児童委員協議会」に所属し「障がい者児部会」で活動され、社会福祉協議会の「心配ごと相談」を担当されてきました。今年の11月までは民生委員としての任期が残っています。



【のだネットとの出会い】

中核地域生活支援センター・のだネットと鈴木さんとの出会いは平成18年9月、地域の困難家庭への支援協力依頼でした。高齢者・知的障がい者・引きこもり・栄養失調者・経済・住居問題を抱えた家庭に、市の高齢者福祉課・障がい福祉課・地域包括支援センター・居宅介護事業所・民生委員・中核センター・病院PSW・親戚が集まり支援会議の開催及び支援ネットワークを構築しましたが、その中心人物が民生委員の鈴木さんでした。これがご縁でその後、他地域の民生委員の会に参加させて頂く機会を得、様々な相談に対して協力して支援しています。

【民生委員・児童委員協議会の障がい者児部会】

鈴木さんが障がい者児部会長として「障がい者と健常者が共に安心して暮らせる街づくりの為、理解を深める」を目的に66人の委員の障がい者施設の体験実習を企画され、平成23年度には知的障がい者の通所施設(1カ所)、平成24年度は精神障がい者の通所作業所(3カ所)、今年には知的障害者の通所施設(数カ所)で体験実習が予定されています。「体験実習で知り合った方達とそれぞれの地域で声を掛けあうようになった」と、その成果を喜んでおられます。

【これからは館長さんとして】

市内11カ所の公民館の中で民間出身の館長さんは鈴木さんのみだそうです。

公民館としては「地域住民の文化の発祥の場として、講座の企画・募集」をし、南部公民館としては「茶道」「寝たきりにならない高齢者の為の仲間づくり・健康づくりにグランドゴルフの初心者講座」を開催されています。

温かいお人柄の鈴木さんは、これからも増々お元気で地域住民の為に活躍されることでしょう。

中核地域生活支援センターのだネット コーディネーター 金城 和子

わたしのまちの地域福祉

柏市障害者虐待防止センターの取り組みについて

柏市役所障害福祉課 小原 恵

平成24年10月1日に「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」が施行され、柏市でも障害福祉課内に柏市障害者虐待防止センターを設置しました。

障害者虐待防止センターでは、障害者虐待に関して寄せられた相談や通報を受け、各機関と連携をして必要に応じた支援を行っています。

虐待を未然に防ぐためには、より多くの方からの通報が寄せられることが重要だと考えています。そのためには、地域の方々に積極的に協力していただく必要があります。障害者虐待防止センターの開設にあたっては、広報かしわやホームページへの掲載、柏市の自立支援協議会や民生委員の全体会等での説明、パンフレットの配布などにより、相談窓口の周知に関する広報活動を行ってきました。その結果これまでも、地区の民生委員の方や近所の住民の皆さん、事業所の職員や警察、医療機関など地域の様々な機関からの通報が寄せられました。センターの開設時は、相談や通報がどれくらいあるかわからない状態でしたが、当初の予想よりはずっと多くの通報がありました。これは地域の方々の協力を得ることができたからではないかと思えます。

相談や通報に基づく対応の際にも、地域の各機関と連携して動いています。関係する事業所の協力のもと対象者への聞き取りを行ったこともありました。柏市における児童虐待防止の部署である家庭児童相談室や児童相談所、高齢者虐待防止の部署である地域包括センターと連携して対応したこともあります。障害者支援施設や病院、警察などの協力で、一時保護を実施したこともあります。虐待防止センターだけでなく、各機関が持っている機能を活用することで、一つ一つの事案に対応していくことができたのではないかと思います。

柏市に障害者虐待防止センターという窓口ができたことで、長い間悩んでいた方が相談することができるようになれば、その活動にも大きな意味が出てくると思います。これからも地域の皆様の協力をいただきながら、少しでも問題の解決に向けて、日々活動を続けていきたいと思えます。



ちば・地域発 ～県内ア・ラ・カルト～

第40回国際福祉機器展 H. C. R. 2013

- [内 容]** 40周年を迎える国際福祉機器展では、高齢者や障害者の自立と社会参加の促進、家庭や福祉施設での介護の質の向上を目的に、杖・車いす・福祉車両・入浴・トイレ・住宅改造機材などの福祉機器、高齢者向け食品や衣類など日常生活を支えるさまざまな生活用品を総合展示します。また、セミナーなどの企画・イベントも行われますので、ぜひご参加ください。
- [日 時]** 平成 25 年 9 月 18 日（水）～平成 25 年 9 月 20 日（金）10:00～17:00
- [場 所]** 東京ビッグサイト東展示ホール
東京都江東区有明 3-11-1 東京ビッグサイト
TEL：03-5530-1111（代表）
- [参加費]** 無料・登録制（一部プログラムは有料です）
- [ホームページ]** <http://www.hcr.or.jp>
- [申 込]** ホームページから事前登録ができます。（当日受け付けも可能）
- [問合せ先]** 一般社団法人 保健福祉広報協会（H.C.R2013 事務局）
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5F
TEL：03-3580-3052 FAX：03-5512-9798

第 16 回千葉県障害者グループホーム講座 地域で暮らす～グループホームの生活～

- [内 容]** 障がいのある方が住む暮らしの場の一つとして、4～6 人程度の少人数で住むグループホームがあります。この講座では、市民の方々を中心とした参加者にグループホームの生活がこういったものなのかをご理解いただくとともに、地域で暮らすということについて考えていきます。
- [プログラム]** ①制度説明：グループホームの現状
②実践報告：NPO 法人タなぎ グループホーム（入居者・世話人）
近隣住民【予定】
- [日 時]** 平成 25 年 8 月 17 日（土）13:00～15:00（開場 12:30～）
- [場 所]** 亀田医療大学（千葉県鴨川市横渚 462）
- [参加費]** 無料 **[定 員]** 100 人 **[申込締切]** 平成 25 年 8 月 9 日
- [申 込]** ご所属・お名前・住所・連絡先を明記のうえ、下記問合せ先に電話または Fax にてお申し込みください。
- [問合せ先]** 長生・夷隅圏域障害者グループホーム等支援ワーカー 藤野
TEL：0470-60-9123 Fax：0470-60-9124

発行元：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

事務局：さんぷエリアネット（山武圏域）山武市成東 189-3 TEL:0475-53-5208 FAX:0475-80-2808

編 集：いちほら福祉ネット（市原圏域）市原市東国分寺台 3-10-15 TEL:0436-23-5300 FAX:0436-23-5225

※内容についてのお問い合わせは、いちほら福祉ネット（担当：高地）までお願いします。